

市議会だより



絵画 宮崎 正和さん(栄町)

令和3年9月定例会議会

あんない

9月定例会議会	P2~P3
討論(議案等に対する意見)	P4~P6
一般質問(個人19名)	P8~P17
議会報告会のお知らせ	P18

表紙写真・絵画募集中!

次回の締切は12月9日(木)です。

編集 議会だより編集委員会
発行 豊明市議会事務局(0562-92-1121)

9月定例会月議会

9月定例会月議会は、8月26日から9月22日までの28日間にわたり開催し、令和2年度の各会計決算の認定議案10件、議案14件、決議案1件、意見書案2件、請願1件などを審議しました。

人事案件

（敬称略）

◎教育委員会の委員の任命について

任期満了（9月30日）に伴い、次の方の再任に同意しました。

（任期は4年）
長山 加代子
（沓掛町）

請願

◎定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及

び拡充を求める請願
令和3年9月22日
採択

意見書（一部省略）

9月定例会月議会最終日の9月22日に意見書案2件について審議し、可決しました。

◎コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方財源の充実を求める意見書

地方自治体では、コロナ禍への対応はもとより、地域の防災・減災、雇用の確保、地球温暖化対策などの喫緊の課題に迫られているほか、医療介護、子育てをはじめとした社会保障関係経費や公共施設の老朽化対策費など将来に向け増高する財政需要に見合う財源が求められる。その財源確保のため、地方税制の充実確保が強く望まれる。

よって、当市議会は国に対し、令和4年度地方

税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

1. 令和4年度以降3年間の地方一般財源総額については、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとされているが、急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が毎年度増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること。
2. 固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは家屋・償却資産を含め、断じて行わないこと。現行の特例措置は今回限りとし、期限の到来をもって確実に終了すること。
3. 土地に係る固定資産税について講じた、課税標準額を令和2年度と同額とする負担調整

措置については、令和3年度限りとすること。

4. 自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長について、更なる延長は断じて行わないこと。

5. 炭素に係る税を創設又は拡充する場合には、その一部を地方税又は地方譲与税として地方に税源配分すること。

意見書提出先
内閣総理大臣他5大臣、
衆参議院議長

◎定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費

国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

本年度、義務標準法の改正に伴い、小学校について学級編制の標準が5年かけて、学年進行で35人に計画的に引き下げられることとなり、政府予算において、少人数によるきめ細かな指導体制の整備のために、744人の定数措置がなされた。しかし、中学校における

少人数学級の推進については、附帯決議の中でふれられるにとどまった。また、依然として教職員定数改善計画は示されておらず、子どもたちの健康やかな成長を支えるための施策としては、不十分なものであると言わざるを得ない。山積する課題に対応し、すべての子どもたちにゆきとどいた教育を行うためにも少人数学級のさらなる拡充を含めた定数改善計画の早期策定・実施が不可欠である。

よって、当市議会は国に対し、来年度の政府予算編成にあたり、定数改善計画の早期策定・実施と、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国庫負担率2分の1への復元にむけて、十分な教育予算を確保されるよう強く要望する。

意見書提出先
内閣総理大臣他4大臣

9月定例会議会議案等の審議結果

議案等の賛否

○：賛成 ×：反対

議案等番号	会 派 名 議 員 名 件 名	清和							市民派 の 会			未来 ク ラ ブ		真明			公明党		議 長		
		服部 龍一	青木 亮	鶴飼 貞雄	近藤 ひろひで	毛受 明宏	近藤 郁子	月岡 修一	中村 めぐみ	林 ゆきひろ	ごとう 学	清水 義昭	宮本 英彦	近藤 善人	堀内 ちほ	いとう ひろし	三浦 桂司	近藤 千鶴			
認定議案 1	令和2年度豊明市一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	
認定議案 2	令和2年度豊明市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	
認定議案 3	令和2年度豊明市土地取得特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定議案 4	令和2年度豊明市墓園事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定議案 5	令和2年度豊明市農村集落家庭排水施設特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定議案 6	令和2年度豊明市有料駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定議案 7	令和2年度豊明市介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
認定議案 8	令和2年度豊明市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
認定議案 9	令和2年度豊明市水上太陽光発電事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定議案 10	令和2年度豊明市下水道事業会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 5 3	教育委員会の委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 5 4	工事請負契約の変更（国庫補助事業（仮称）多世代交流館整備工事）	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
議案 5 5	財産の買入れ（救助資機材搭載型積載車）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 5 6	豊明市営墓地及び都市公園の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	
議案 5 7	豊明市駐輪場再整備に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	
議案 5 8	豊明市児童発達支援センター条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 5 9	豊明市共生交流プラザ条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	
議案 6 0	豊明市個人情報保護条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 6 1	豊明市子育て支援センター条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 6 2	豊明市都市公園条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
議案 6 3	令和3年度豊明市一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	
議案 6 4	令和3年度豊明市墓園事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	
議案 6 5	令和3年度豊明市介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 6 6	令和3年度豊明市一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
決議案 1	議案に関する提案理由の説明の誤りを確認、謝罪し再発防止に努める決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
意見書案 1	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
意見書案 2	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願 2	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

論

9月定例会議会の最終日に各会派等の意見を代表して賛成・反対討論を行いました。
(文責は各会派にあります。)

◆清和◆

令和2年度一般会計・各特別会計歳入歳出決算・下水道事業会計決算の認定について賛成

令和2年度における市税は、前年度比0・6%減で、今後コロナの影響を受けることは確実です。収入未済額が1億9千万円余りで、収納率は前年度比約0・2%上回ったことは徴収体制整備事業による効果の現れとして評価しますが、今後も自主財源の確保に努力してください。

主要施策の主な成果としては、ガードレール等の設置による園児等の交通事故防止策、スマホで予防接種や健康診断情報を確認できる子育てアプリの導入、市内での事業継続を支援する中小企業再投資促進補助金の交付、災害に備え境川沿岸地域9カ所と土砂災害警戒区域1カ所の同報無線を整

備、そして定住外国人日本語教育推進事業、プレクス・プレススクールの拡充、館小学校でのセーフティプラスワン事業の導入など、市民の暮らし、福祉、教育など未来を見据えた持続性を持った事業執行でした。

新型コロナウイルス感染症への市独自の対策としては、すくすく子育て応援給付金、フード・ギフト事業、生活困窮者緊急生活支援、小規模店舗利用促進、プレミアム付食事券、小規模企業者事業継続支援金など、迅速にコロナ感染症対策を実施していただいたことを評価します。今後全職員の職員の丸となった効率的な予算執行を期待し、賛成。

◆市民派の会◆

市民に寄り添った行政運営と透明性を求めて一般会計・国保・後期高齢特別会計の決算に反対

●一般会計

①国のコロナ対策交付金を他の目的に使って財源を浮かせたり、不要な借金（臨財債）を目いっぱいしたりし、年度末に基金を24億円も積み増している。その結果、困窮者への支援不足や借金残高100億円超えなどの問題が生じた。また、人件費増などで財政の硬直化が進んだが、行政改革に

らの附帯決議が提出されたが、一方的に進められた。⑤ひまわりバスもチョイソコとよあけも負担金増。また、1人当たりの平均利用料の差が1000円となった。

⑥昨年に続き、決算資料は大幅に削減されており、今年も説明責任を果たしていない。

以上の点から、市民に寄り添った行政運営と透明性を求めて反対。

●特別会計

②コロナの施策は、外国人市民や大学生、解雇や雇い止めとなった方々への支援不足が目立った。③事業者への対応が甘く、コスト意識が低いため、工事の落札率は高い。④図書館分室閉鎖は、市民からの請願や議員が

国保は高齢者や非正規など経済的に厳しい加入者が多いのに、毎年国保税を引き上げている。後期高齢者医療は国の基準に合わせ、年々負担を強いる運営をしている。これらの特別会計に反対。

討



◆ 未来クラブ ◆

令和2年度決算賛成 新型コロナウイルスの影響を受けた決算 共生交流プラザ条例賛成 利用料金は平等に

▼令和2年度一般会計決算は新型コロナウイルスによる緊急事態宣言で始まり新型コロナウイルス感染症対策に終始する、通常年度とは大きく異なる決算でした。

歳入では、個人市民税はわずかに増収となりましたが、法人市民税は3割近い減収となり、新型コロナウイルスの影響を大きく受けたのは法人事業者でありました。また、国民一人10万円の特別定額給付金等によって国庫支出金が約79億円、県支出金が約2・5億増え、歳入総額は325億円、前年度比約40%増でありました。歳出は、決算委員会の審査から、新型コロナウイルスにより半年ほど事業を行っていない団体から補助金の返還がなかったことが

明らかになりました。このような特定の団体を優遇する不平等な状態を是正し、補助金団体への審査を厳格に執行いただきたい。

新型コロナウイルスにより、社会は急速に変化することにも、行政に求められることも変化します。市民の声を聞き、安全で安心な暮らしを提供し、多くの笑顔が生まれるよう、迅速かつ的確な事業を効果的に遂行していただくことを要望します。

▼共生交流プラザ条例
唐竹小学校跡地に「豊明市共生交流プラザ」が誕生します。市民の税金10億円を投資するのであるから、全ての団体等の利用料金は平等に取扱うことを要望し賛成します。

◆ 真明 ◆

令和2年度 決算に賛成 墓地・公園指定管理、旧唐竹小学校改修、駐輪場整備に賛成

令和2年度一般会計及び各特別会計の歳入歳出それぞれ過去最高額。会派では昨年5月に、市長にコロナウイルス対策として要望書を提出した。

●夏休みが短縮され、真夏に学校が開催されるので、熱中症対策強化と、見守り隊の人への支援。
●学校へ通えない児童生徒に対してGIGAスクールの推進。困窮学生への支援の拡大。
●外国籍の児童、就労者への支援、相談窓口充実。
●雇止めになった方への相談窓口の充実。
●医療・教育を支える方々への支援。
●介護・障がい施設など福祉従事者に支援。
●ひとり親世帯、未婚のひとり親、非正規雇用の

シングルマザーへの支援。
●持続化給付金の迅速かつ適切な支給。
要望した多くの支援策を取り入れていただき、市民より多くの感謝の声が届いている。

●他の議案
●公園・墓地の指定管理を依頼。整備・活性化を図る事業となる。地元業者への配慮を要望。
●旧唐竹小学校の改修で、多くの団体・事業所等や子育て等の支援拠点となる。歴史民俗資料室には新たに桶狭間の合戦コーナーを設置。
●市内3駅周辺の駐輪場を有料化して整備委託。利用者の要望もあり、屋根や照明、防犯カメラを設置。放置自転車対策と犯罪防止にも成果を期待。

◆公明党◆

令和2年度 決算認定議案 第1号から10号について賛成

防犯カメラの補助は、安心安全なまちづくりにつながるものと理解いたします。今後も新設の補助は多くなると考えますので、お願いいたします。

ヘルプカード、ヘルプマークの配布は、毎年広報をしていただいています。ヘルプマークをカバン等に着けている方が周りの人から配慮が受けやすくなるよう引き続きの広報をお願いいたします。

子育てアプリは、予算より安価で事業を行うことができました。登録者数の増加につながるよう、内容の充実を要望いたします。

介護保険は、包括的かつ継続的なサービス体制を目指し、要介護になった方に対して、介護サ

ービスの質の向上を目指してください。

下水道事業は、持続的・安定的なサービスの提供をお願いいたします。

コロナの拡大で市民の皆さんの命・生活を守るため、急を要する事業が数多くでき、全庁で取り組んでいただきました。

ありがとう寄附金などを活用した医療従事者応援金2回支給、国の特別給付金が届かない人などへの市独自の給付金は、大いに評価いたします。

今後、市民の皆さんに寄り添い、柔軟な発想と対応をお願いいたします。また、市民サービスの滞りない実施のために様々な観点から検討し、計画的に行っていただくようお願いいたします。

◆日本共産党◆

令和2年度豊明市一般会計決算に反対

令和2年度はコロナウイルスの影響を受けた1年間で、国は個人が生活習慣で行う予防策は示したが、積極的な検査や隔離・保護を行う考えがなく、事業者には営業の自粛を要請しながら補償は

損失に合うものではなかった。また、非正規労働者や学生の苦しみに寄り添う役割が自治体に求められた。市の令和2年度決算は地元応援クーポン券の配布、プレミアム付食事券の販売は自営業

者から歓迎され、民間事業者と行った生活支援の事業も評価できる。

一方、国が国民の情報を吸い上げ社会の監視誘導をするおそれがあるマイナンバーカードの発行が大幅に進み、墓園・公園の管理、駐輪場運営の民営化計画が進んだ。コロナウイルス対応へ職員体制も抜本的に強化すべきだったと考え反対。

◆たんぽぽ◆

■栄中擁壁改修工事納得できず (補正予算第6号) 反対 ■決算認定のうち、一般会計&国保特会には反対

■栄中学校擁壁改修工事
1238万5千円：隣地地盤を当時の地盤に復元すれば完了するにも関わらず、多額の税金を使い新しい擁壁を施工することは間違っている。反対。

①飲食店の事業継続支援、プレミアム付食事券事業。1店舗上限3百冊ルールを勝手に変更、販売冊数が店舗により極端に偏った。本来の事業目的を達成したとは言い難く、事前想定のごさを指摘。

②相変わらず建築土木工事の設計変更の多さ、設計側の不備と思われることもすべて市が負担。工事全体の6割が落札率95%超で是とする姿勢は問題。競争性を高める入札制度の見直しを求める。

③決算資料が簡略化し、昨年度複数から指摘があっても改善されていない。行政情報の「見える化」が求められる時代に逆行。

12月定例月議会の開催日程（予定）

11月30日（火） 本会議（議案上程・提案説明）

12月 2日（木） 本会議（一般質問）

12月 6日（月） 本会議（一般質問）

12月 7日（火） 本会議（一般質問）

12月 8日（水） 本会議（一般質問）

12月10日（金） 本会議（議案質疑・委員会付託）

12月13日（月） 総務委員会

12月14日（火） 健康福祉委員会

12月15日（水） 建設文教委員会

12月22日（水） 本会議（委員長報告・討論・採決）

※ 本会議・委員会とも午前10時より開かれます。
上記は予定のため、変更される場合があります。
 詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

電話 0562-92-1121

※ 次回の議会だよりの発行は
 2月1日です。

豊明市内在住・在学・在勤の方から、 表紙を飾る写真・絵画・イラストを募集します。

宛 先：〒470-1195 豊明市新田町子持松1番地1
 豊明市議会 議会だより編集委員会
 メール：gikai@city.toyoake.lg.jp

ご応募
 お待ちして
 います！

氏名・住所・電話番号・作品のタイトル、写真の場合は撮影場所・日時を明記の上、お送りください。

作品は直接お持ちいただくか、郵送またはメールでお送りください。メールの容量は5MBまでです。現物の場合、返却のための発送はいたしませんので、掲載日から2カ月以内に引き取りにお越しくください。以降は処分させていただきます。

ご自身が撮影、制作された、他の場で受賞していない作品に限ります。顔がはっきり分かる人物が写っている場合は本人（未成年者の場合は親権者）の許可を得ておいてください。

季節感のある作品の場合、掲載時期をご配慮ください。2月1日発行分の締切は12月9日（木）です。

※詳しくは豊明市議会のホームページをご覧ください。

13日	12日	6日	10月	22日	15日	14日	7日	3日	9月	30日	26日	26日	23日	20日	13日	2日	8月	30日	27日	21日	15日	7月	
議会だより編集委員会	議会 理審査会	豊明市議会議員政治倫理審査会	正副委員長会	議会だより編集委員会	正副委員長会	正副委員長会	正副委員長会	理審査会	豊明市議会議員政治倫理審査会	東部知多衛生組合議会定例会	東部知多衛生組合議会定例会	議会 9月22日	9月定例月議会 9月22日	正副委員長会	正副委員長会	理審査会	豊明市議会議員政治倫理審査会	尾三11市議会議長協議会（瀬戸市）	尾三11市議会議長協議会定例会	愛知中部水道企業団議会定例会	全員協議会	理審査会	豊明市議会議員政治倫理審査会

議会日誌



一般質問

行政のいろいろな問題や施策に対する考え方について19名の議員が質問に立ちました。その内容については次のとおりです。（文責は各議員にあります。）

一般質問

◇自転車活用の環境と安全推進について
◇令和4年・18歳成人への取り組みと課題、
市制50周年事業の周知について

いとう ひろし 議員



自転車活用の環境と安全推進

問 自転車保険の加入率と推移について。

答 愛知県は62・9%。県が条例を制定し、10月から自転車保険への加入を義務化しますので、現状より加入率は上がると見込みます。

問 自転車用ヘルメット着用推進事業の内容と進捗状況について。

答 7歳から18歳の児童生徒とその保護者、65歳以上の方に向けたヘルメット購入補助を4月より実施し、8月時点で35件の申請がありました。

令和4年18歳成人の取り組みと課題

問 民法改正に伴い令和4年4月から成人年齢が18歳に引き下げられるにあたり、成人式はどのように行う予定か。

答 これまでどおり20歳の年齢で行う予定。

問 18歳から本人のみで各種契約が可能になる中、消費トラブルの増加が懸念されるが、対策は。

答 消費生活センターに寄せられる相談は未成年の保護者・20代も増えてきており、若年層への啓発が必要と考えます。高校生への消費者教育の実施を考えています。

問 市制50周年事業の周知についての考えは。

答 式典は行わず、できる事業は来年8月から行う方針。感染防止を図りながら、開催できる状況になったところで周知を十分に行い、たくさんの方が参加できる状況下で開催したいと考えます。



一般質問

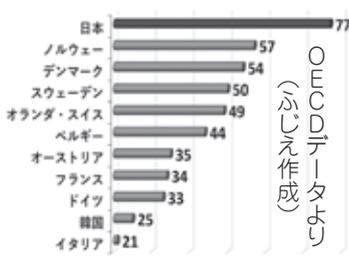
地球温暖化に歯止めを！基礎自治体ができることは
～ 30年後、脱ごみ焼却等をめざして～

ふじえ 真理子 議員



- 問** 家庭系ごみ減量計画。コロナ影響を加味しても3%弱の減で、中間目標10%にはほど遠い。この分析と今後の具体策は。
- 答** 一応減少傾向にある。有料化に舵を切る前にもうひと踏ん張りしていただきたい。引き続き20%削減の努力をしていく。
- 問** リサイクルを税金で賄うのではなく、拡大生産者責任としてリサイクル費用を製品価格に乗せするなど、納税者負担から消費者負担へと変えていく仕組みづくりを市から国などに働きかけていく考えは。
- 答** 市から国へ働きかける考えには至っていない。
- 問** CO2排出量削減の具体的な取り組みは。
- 答** 電気自動車等への充電及び電気自動車等から災害時に住宅へ電力供給できる住宅用設備の設置補助導入など進めている。
- 問** 意識して緑地帯を増やす施策を打つべきでは。
- 答** これ以上緑地を減らさずに進めていければと思う。
- 問** 世界を見ると日本はごみ焼却大国。ゼロウェイスト宣言とゼロカーボン宣言を表明し、両者を合致させた施策を今から打ち出すべき。ロードマップを描いて計画に落とし込み、30年後には焼却炉をなくす強い決意を。
- 答** 20%削減の具体的な目標を掲げ、意見交換や広報紙等でキャンペーンをずっと打っている。市民が同じ目標を持ち同じ方向に向いていくことが先決。具体的な施策を伴わず理念を先行させることは、当市はこの環境問題に限らず考えていない。

世界のごみ焼却 国別にみた割合 (%)



一般質問

◇新型コロナウイルスワクチン接種を促す取り組みについて
◇市制50周年に向け、魅力ある豊明市をPRしましょう！

堀内 ちほ 議員



- 問** コロナワクチン接種促進の取り組みは。
- 答** 南部公民館・保健センターに加えて、9月から中央公民館においても夜8時まで実施します。週末の接種日を増やし、接種可能人数は時間当たり約220人から約360人まで上げていきたい。
- 問** ワクチン接種後に、アナフィラキシーショック等の症状で病院を受診されたときの費用は。
- 答** 一時的にご負担いただいた医療費は、予防接種法に基づく救済の対象となるため、申請して認定がされれば医療費や医療手当が支給されます。
- 市制50周年事業のPR**
- 問** 昔に市職員が作った手描きの市の地図は、クイズ形式で、子どもも楽しめる、分かりやすい地図でした。豊明の歴史や文化に興味を持ち、散策したくなるような手描き地図を作成しては。
- 答** (市長) 地図の得意な市民の力を借りたり、子どもたちに好きなエリアの地図を描いてもらうのも楽しいと思います。
- 問** コロナ禍の今、オンラインにて、LGBTの方との意見交換会を開催する考えは。
- 答** (市長) 市は日常的に意見交換をしているので、50周年事業としてやってもあまり変化はありません。仮に市議会が意見交換をするのであれば画期的で、市内外から注目されるいい機会になると思います。
- 問** 市民交流事業として、障がい者スポーツの「ポッチャー」の開催は。
- 答** (市長) ポッチャーは誰もが楽しめる面白いスポーツです。様々な方が参加することで普及して、その後も地域で楽しんでいただけるスポーツになればと期待しています。



一般質問

・CO₂の削減に真剣な取り組みを ・貧弱な文化・図書館行政を見直せ

ごとう 学 議員



問 国の支援が受けられる2050年CO₂ゼロ表明自治体として、環境省に届け出る考えは。

答 すく結果が出せる見込みが難しい。率先して宣言は考えていない。

問 国は2030年までに46%削減の厳しい方針実行計画はつくるのか。

答 ロードマップまでは考えていない。

問 何をすべきか、検討対象もないのか。

答 何らかの形で進めた。

(市長) 家庭ごみの20%削減が目標です。

文教政策を見直せ

問 約二千万円だった圖書の購入費が、H20に千二百万に激減。その後低水準で推移。図書の情報

が古いという認識は。

答 適切な配分で図書館予算は組まれている。

問 近隣市と比べ最低。その結果、貸出冊数も最低だがこれでもいいのか。

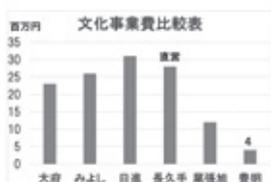
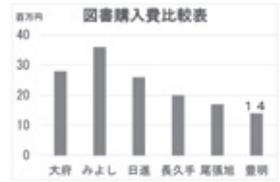
答 限られた予算で限定して購入せざるを得ない。

問 文化会館の目的の一つは、優れた芸術文化を鑑賞する機会の提供だが、年々予算が減って今は半分強。かつては、一流の出演者の催物があったが今はほとんどない。役割は果たされているか。

答 市の負担が多く、行革等で徐々に減った。

問 いい出演者は券が売れて持ち出しが少ない。指定管理者のノウハウは

答 指定管理者で管理者であつても、パートナーの不文律あると聞く。(一)理解を。



一般質問

各区の運営に対する市のサポートについて

服部 龍一 議員



問 各区の運営に対する市のサポートについて

答 地域ごとに異なる課題に対して柔軟に事業を実施できるように、目的を限定して交付していた補助金を一括化し、交付している。事業ごとに申請する手間を省き、区長に裁量権を持つていただくようにしている。

問 区長、副区長の職務へのサポートについて。

答 可能な限り事務負担軽減を検討していきたい。具体的には、申請書類等の提出は、書式をホームページに掲載することや、押印省略によりメール等で提出できるようにし、会議等もメール、書類送付等により代替するなど、事務負担軽減に取り組んでいきたい。

問 区長連合会とは、どのような事業を実施しているのか。

答 昨年度は4つのブックに分かれ区長同士が情報交換を行ったり、他の区の防災訓練を区長が学ぶ機会を提供する研修事業を行った。また、先進地の視察や、講師を招いた学習会を実施したり、ほかの区でうまくいっている事例を学び合い、地区の運営に役立つ事業を行っている。

問 町内会加入率が下がってきているが、加入率低下に対する市として歯止めをかける良い策はあるか。

答 例えば、集合住宅に居住する住民や外国籍市民の方々、加入促進をしたい住民向けの啓発チラシの作成を支援するなど実施している。区・町内会活動が住民の目に留まるようにしていくことや、内容が多くの住民に共感を得られるようにしていくといった、地道な取り組みが重要であると考えている。

問 区長連合会とは、どのような事業を実施しているのか。

答 昨年度は4つのブックに分かれ区長同士が情報交換を行ったり、他の区の防災訓練を区長が学ぶ機会を提供する研修事業を行った。また、先進地の視察や、講師を招いた学習会を実施したり、ほかの区でうまくいっている事例を学び合い、地区の運営に役立つ事業を行っている。

問 町内会加入率が下がってきているが、加入率低下に対する市として歯止めをかける良い策はあるか。

答 例えば、集合住宅に居住する住民や外国籍市民の方々、加入促進をしたい住民向けの啓発チラシの作成を支援するなど実施している。区・町内会活動が住民の目に留まるようにしていくことや、内容が多くの住民に共感を得られるようにしていくといった、地道な取り組みが重要であると考えている。

問 区長連合会とは、どのような事業を実施しているのか。

答 昨年度は4つのブックに分かれ区長同士が情報交換を行ったり、他の区の防災訓練を区長が学ぶ機会を提供する研修事業を行った。また、先進地の視察や、講師を招いた学習会を実施したり、ほかの区でうまくいっている事例を学び合い、地区の運営に役立つ事業を行っている。

問 町内会加入率が下がってきているが、加入率低下に対する市として歯止めをかける良い策はあるか。

答 昨年度は4つのブックに分かれ区長同士が情報交換を行ったり、他の区の防災訓練を区長が学ぶ機会を提供する研修事業を行った。また、先進地の視察や、講師を招いた学習会を実施したり、ほかの区でうまくいっている事例を学び合い、地区の運営に役立つ事業を行っている。

問 区長連合会とは、どのような事業を実施しているのか。

答 昨年度は4つのブックに分かれ区長同士が情報交換を行ったり、他の区の防災訓練を区長が学ぶ機会を提供する研修事業を行った。また、先進地の視察や、講師を招いた学習会を実施したり、ほかの区でうまくいっている事例を学び合い、地区の運営に役立つ事業を行っている。

問 町内会加入率が下がってきているが、加入率低下に対する市として歯止めをかける良い策はあるか。

答 昨年度は4つのブックに分かれ区長同士が情報交換を行ったり、他の区の防災訓練を区長が学ぶ機会を提供する研修事業を行った。また、先進地の視察や、講師を招いた学習会を実施したり、ほかの区でうまくいっている事例を学び合い、地区の運営に役立つ事業を行っている。

問 区長連合会とは、どのような事業を実施しているのか。

答 昨年度は4つのブックに分かれ区長同士が情報交換を行ったり、他の区の防災訓練を区長が学ぶ機会を提供する研修事業を行った。また、先進地の視察や、講師を招いた学習会を実施したり、ほかの区でうまくいっている事例を学び合い、地区の運営に役立つ事業を行っている。

一般質問

農産物の地元での消費の促進について

青木 亮 議員



問 生活習慣病の予防及び改善や健全な食生活、健康づくりのため、市民への野菜摂取量増加に向けた取り組みについては、

答 毎月広報で公募したヘルシーレシピを1点掲載したり、親子の料理教室などでの啓発を行っている。現在74のレシピをホームページで公開しており、積極的に見ていただけるようにしたい。



問 保育園給食における地元農産物の使用状況と今後の取り組みは。

答 地元野菜の収穫時期に合わせて発注し、給食賄い材料費でJAあいち尾東農協が占める割合は、令和元年度1・7%、2年度1・4%相当。地元産の納品が可能であれば、今後も地元産の食材を活用してまいりたい。

問 学校給食における地元農産物の使用状況と今後の取り組みは。

答 年間10種類程度の地元農産物をJAから購入し、野菜だと年間平均で約10%使っている。

地元農産物には種類、数量ともに限りがあり、給食に適したものがなかなか増えていないが、JAとも相談して利用拡大を今後も進めていきたい。

問 市として地元農産物に関する情報提供については。

答 ホームページで豊明の代表的な農産物について掲載し、また広報で新規野菜カリフローレを特集掲載するなど、農産物の情報提供をしている。

問 JAあいち尾東豊明フレッシュセンター廃止に伴う、農産物の地元での消費の促進を図るための施設整備については。

答 JAから相談を受けているが、現状ではまだ何も決まっていない状況。

一般質問

豊明市でできるSDGsへの取り組みについて

近藤 善人 議員



問 市としてSDGsの推進・取り組みについて。

答 第5次総合計画に掲げる40のめざすまちの姿の実現に向けて環境、教育、福祉などSDGsの達成につながる事業に取り組んで実施している。

問 庁内におけるSDGsの認知度について把握しているか。

答 職員については一定程度理解は浸透していると考えている。今後さらに理解を深めていく必要があると認識している。

問 小中学校でのSDGsの取り組みについて。

答 環境学習、エネルギー学習、気候変動などについて、各教科や総合的な学習の時間で取り組んでいる。

問 不登校生徒が減少していないが何か考えは。

答 不登校問題は最重要と位置づけている。最初に掲げた、10年後で49人の目標に向けて今後やることは全てやっていく。

問 ICT教育が始まり、フレンドひまわりに通う生徒への対応は。

答 一部教室においてICTの環境が不安定なので改修する予定。それが整えば、タブレットを活用できると考えている。

問 Q-Uアンケートの効果について。

答 学校が楽しくない、授業が分からないという生徒が分かる。その後に個別に対応できることが一番の効果と思う。

問 市民へのSDGsの浸透について。

答 広報5月号にSDGsの概要について掲載した。日常生活の身近なことの中にSDGsの達成につながる取り組みがたっくさんあることを示しながら、市民生活に浸透させていきたい。

不登校児童生徒数		
年	小学校	中学校
H22	13	62
H23	17	67
H24	16	64
H25	25	63
H26	24	77
H27	27	73
H28	14	61
H29	14	64
H30	20	60
R元	23	57
R2	29	66

一般質問

- ・ 特殊詐欺被害防止について
- ・ ハンドサイン運動について
- ・ 子育てアプリについて



近藤 千鶴 議員

問 愛知署の特殊詐欺防止策は。

答 愛知署では、新たに町内会単位で特殊詐欺通報推進地区を指定し、パトネットあいちゃアイチポリスへの登録を促していく。推進地区の看板を新たに作成して、視覚効果により住民の防犯意識向上、犯行抑止につながると考えている。

問 豊明市の特殊詐欺被害防止策は。

答 ワクチン接種会場の中央公民館で防犯のDVDを流して啓発。また、市と愛知署、民間事業者2社で協定を結び、家庭系ごみ収集車のドライブレコーダーの画像を警察の捜査に活用できるようにした。さらに、市と災害協定を結んでいるスギ薬局、愛知署で詐欺防止のチラシを作成。印刷、配布はスギ薬局が担っている。今後は市内各駅に新たに防犯カメラの設置を予定している。

ハンドサイン運動について



問 横断歩道事故防止の促進につながるかと考えますが、市の考えは。

答 車両に自分の横断する意思を知らせるために有効な手段と思う。高齢者や保育園児を対象にした交通安全教室、11月の横断歩道の日の啓発活動に取り入れたい。周知のチラシは早急に検討する。

子育てアプリについて

問 昨年10月より開始されたが、登録者数の推移状況は。

答 8月19日時点で825人の登録。HPでの周知がスマホでも分かりやすくなるよう改善したい。多くの情報を発信し、市とのつながりを形成していくことが大事と考える。

一般質問

- ・ 豊明市に在住する元看護師の方々の名簿登録について
- ・ もう一つの私の学校が見つかる？（オルタナティブスクール）



月岡 修一 議員

問 コロナウイルス感染者の治療に命を賭して働いてくださる全ての医療関係者に心から感謝を申し上げます。

看護師経験者で、有事に際し協力いただける方の名簿登録を推進しては。

答 豊明市には災害時の看護師等ボランティア登録制度があり、現役でない方も含めて54名の登録があります。

問 元看護師さんの働きも重要な役割を果たしています。市として特別手当の支給はできませんか。

答 市ではふるさと応援寄附金の中に「医療従事者ありがとう寄附金」を設け、これを原資に1100万円を医療現場にお届けしました。

オルタナティブスクールについて

問 学校という環境に適さない児童に、オルタナティブスクールで教育を行うことを求める親御さ

んが将来的に増えていく可能性がありません。市の対応をお聞かせください。

答 民間の教育機関での学習が適切だと判断されれば、通った日数を出席として扱います。

問 運営費用に苦労されていますが、市内にこのような教育機関ができた場合の対応は。



安城市にあるオルタナティブスクールの様子

答 教育理念や学習内容を聞き、学校との連携なども協議し、要望も前向きに話をお聞きします。

問 市外に通って教育を受ける児童の交通費の補助は検討できませんか。

答 同様のケースで名鉄や名古屋市営地下鉄で学割の定期券の発行が可能です。市外へ通う児童の推移を見て検討します。

一般質問

・行政サービスの利便性向上について

鵜飼 貞雄 議員



問 デジタル化の推進による行政サービスの展覧について。

答 市役所の多くの業務を見つめ直す機会になると期待されている。慣例や既存ありき、行政の都合ではなく、利用者、市民の目線で根本から見直す業務改革の機会であり、市役所の構造変革にも及び可能性があることを認識している。

将来のあるべき姿、方向性を見定め、市民の目線で利便性向上の取り組みを続けていきたい。

問 豊明市では高齢者を社会全体で支える仕組みである地域包括ケアが「豊明モデル」として発展している。こうした取り組みの中で築き上げてきた連携の仕組みや地域の社会資源などを今後予想される福祉課題にも活かし、より一層の市民サービスの向上を図っては、

答 本市では現在、複合的な問題や狭間のニーズ

に対応するため、分野の枠を超えて、問題を抱える相談者とその世帯への包括的な支援や地域住民等による地域福祉の推進を図っていく取り組みである「重層的支援体制整備事業」の実施について、健康福祉部を中心に横断的な検討を進めている。

また、ひきこもり支援もいち早く取り組んできているので、こうした取り組みの中で築き上げてきた連携の仕組みや地域の社会資源、人材を柔軟に活かしたセーフティネットの仕組みを作っていくたいと考えている。

問 課題対応力を向上させるため、相談窓口の強化のための人員増強など、人員配置の適正化についての考えは。

答 各分野の体制強化とともに、その取り組みをバックアップし、市民へのサービス向上につながる重層的支援体制の整備が必要と考えている。

一般質問

・集中豪雨対策について ・「けやき通り」のPRについて

近藤 ひろひで 議員



集中豪雨対策について

問 アンダーパス（道路や鉄道の下をくぐる道路）の安全管理は。

答 市内には3カ所あり、「冠水表示板」の設置や、路面または側面に冠水状況が分かる表示があります。内2カ所は道路下に集水ますが設置してあり、設定水位に達するとポンプが作動し排水します。豪雨時の通行止めの基準は水深15センチです。

問 河川の整備の計画は。

答 河床整備（河川のしゅんせつ事業）は、井堰川をR4年度までに、若王子川をR6年度までに実施する予定です。

問 豪雨時の道路の監視体制は。

答 災害対策本部にて状況把握に努めます。CC Netと協定を締結し、安全・安心123チャンネルで、市内11カ所に設置されたライブカメラを24時間視聴できます。

「けやき通り」のPR

問 国道1号から三崎水辺公園にかけ、県内でも珍しいアップダウンのある直線道路があります。前後駅から三崎水辺公園を再整備し、広くPRしませんか。

答 駅前広場周辺も改修が必要な箇所が多数あり、今後の課題としています。三崎水辺公園は毎年桜の木の植え替えを実施しています。

公園や前後駅で行うイベントに合わせ、今後どのようにPRできるか研究します。



一般質問

高齢者の介護について （介護認定から始まる介護支援について）

近藤 郁子 議員



問 高齢になれば、健康であっても大なり小なり介護は必要となります。

答 認定調査をフル稼働させていても限界はあり、それが影響を及ぼしている部分もおそらくあると感じています。

問 具体的な対応についての考えは？

答 すでに調査員の増員をかけています。調査員は習熟までに多少時間を要することもありますが、現状に対応しながら、さらに強化していきたいと思えます。

問 要介護から要支援へ介護区分が変わる可能性がある場合、市がケアマネージャーさんとご家族を早めにつないでアドバイスするようなシステムづくりはできますか？

答 ユーザー目線に立ち、混乱を生じたり大きく状況が変わるような場合は、連携を密にし、ご家族の負担にまで思いをはせた情報共有に努めていきたいと思えます。

問 介護度の区分変更申請は、60日前申請という

問 高齢者情報機器取扱い

問 新型コロナのワクチン接種予約において電話はつながりにくく情報機器を利用したほうが予約は取りやすい状態だったが本市の現状認識は。

答 予約集中時にはコールセンターがつながりにくかった。ウェブ予約を家族等の支援を受けながら、また自身で初めて試す方が多くおられた。

問 デジタル庁が発足した。情報機器に興味関心を持っていただくためのアプローチの考えは。

答 周囲の方々の援助が重要と感じている。

問 援助するサポーターの確保の方策は。

答 おたがいさまセンターチャットがサポーターとのマッチングを行っている。



高齢者の情報機器取扱いについて 自動車・二輪車・自転車の駐車場（駐輪場）について

清水 義昭 議員

一般質問

問 極のみとなる。赤字にならないのか。

答 支出の委託料が下がるため赤字にはならない。

問 駐輪場整備計画案の説明会においてどのような意見が出たのか。

答 125ccのバイクを止められるようにしてほしいや、中京競馬場前駅には国道1号の南北に1カ所ずつ駐輪場があったほうがよいなど。

問 計画案の駐輪場の箇所数は。

答 元の計画は4カ所だったが、意見をいただき7カ所とした。

問 駐輪場は、運営を公益財団法人自転車駐車場整備センターで行っても市で行っても同じくらいの収支で行けるのではないか。市が単独でやっているのか。

答 整備センターの利益を出す方法はノウハウになっており、市ではその詳しいノウハウはわからない。

駐車場・駐輪場

問 計画では有料駐車場は時間貸しがなくなり月

一般質問

1. 豊明市の「市民協働推進」について 2. 子どもたちの放課後事業の充実を目指して

林 ゆきひろ 議員



問 市民協働推進のための中間支援組織は、どのような役割か。

答 地域で起こっている問題を解決するため、団体同士をつなげたり、まちづくりの担い手を育てたりする大切な組織。

問 中間支援組織に対して、これまで市は研修や育成を行ってきたと思うが、今後の課題は。

答 中間支援を必要としている団体は必ずしも市民交流センターへ来たりするのではなく、生活の現場で起こっている問題も多い。市民ニーズが中間支援へ届かない。

問 多世代交流施設に移って、中間支援をさらに進めていくための具体的な策は。

答 指定管理の仕様書に市民活動支援もあるが、施設内で業務



多世代交流施設予定地

を行うので、地域に出向いての活動はできないと思っている。施設を利用する団体の協働で別途できていくと考えている。

問 協働推進計画と異なってきたりするようだが、協働推進委員から了承は得られているのか。

答 計画は中間見直しの途中である。これから委員会の回数を重ねていく。

問 多世代交流施設に移って、さらなる中間支援組織の発展はできるのか。今までの中間支援組織を活かしている考えは。

答 指定管理者が中心となって中間支援を担う考えはなく、施設の管理が主な業務。今の市民交流センターの活動はそのまま多世代交流施設でやっていただく。

児童クラブについて

その他、児童クラブ利用者の就労条件の緩和や長期休み中の昼食提供について質問しました。

土砂災害を防ぐ条例を設けてはどうか

問 豊明市には6カ所土砂災害警戒区域があり、土砂災害防止法に基づく指定区域、土砂災害危険箇所というものが示されている。防止策を取った土地の活用が規制されたりする場所という認識で合っているか？

答 土砂災害防止法の目的は土砂災害から住民の生命を守るため、土砂災害のおそれがある区域を明らかにし、警戒避難体制の整備や新規立地の抑制など、ソフト対策を推進するもの。市内では三崎町社、沓掛町一之御前・坊主山、栄町大根、間米町鶴根・榎山が指定されている。

問 間米町榎山に太陽光発電施設が造られようとしていることが分かり、近隣住民から景観・反射光による熱害・土砂災害が起こるのではないかと

相談があった。この場所に太陽光発電施設を造ることは可能なのか？

答 聞いている場所において建設は可能。造成の有無、建築物の有無など、工事内容を法令に照らして判断する必要がある。

問 地図上では30メートル四方に見えるが、面積の規制はあるか？

答 伐採に対しては1千平方メートルを超えると県の許可が必要。

問 間米町榎山の土砂災害警戒区域は斜面の途中に設定されている。その上部の雑木は土砂災害を防ぐ役割を果たしているため、伐採等の開発の規制をする市独自の条例を設けてはどうか？

答 砂防指定地域内での行為の許可、開発許可制度については愛知県知事が行うものであり、既に一定の法規制があるため、市独自に条例で規制を定めることは考えていない。

一般質問

開発行為による人災が起きないように

郷右近 修 議員



一般質問

乳がん・子宮がんの早期発見・がん検診の受診率向上を目指して

中村 めぐみ 議員



問 集団検診で女性の医師の希望を出して、どの程度実現できているのか。

答 令和2年度は、乳がん検診9回、子宮がん検診6回が実績です。

問 予約の段階で医師等の性別が分かるようにするのは可能なのか。

答 現在の仕組みの中では難しく、今後の課題として承ります。

問 女性の医師が対応可能な本市の検査機関は乳がんのみで1件。他市では市外の検査機関も対象としているので、本市も拡大する考えは。

答 過去に協議をしたことがありますが、現状医師会での実施が前提で進めているので理解いただきたい。

問 集団検診では予約時点で女性の医師の確認が難しく、市外の検査機関へ拡大の協議も進まない。どのように受診率の目標を達成していくのか。

答 当面は工夫をしなが

ら受診機会の拡大に取り組んでいきます。

問 乳がん・子宮がん検診の対象年齢は。

答 乳がん検診が40歳以上、子宮がん検診が20歳以上です。

問 早期発見の為、乳がん検診の対象年齢拡大の考えは。

答 現在、国の示す指針の基準に沿ってやること、40代から急増の分岐点なので、その範疇で考えています。

問 若い世代や高濃度乳腺の方の乳がん発見に有効な超音波検診との併用の考えは。

答 高濃度乳腺の方に対して、マンモグラフィ単体に比べ、感度及びがん発見率が優れている研究効果があることは理解しています。がん検診指針への反映については、国が引き続き検討しているのが現状で、国の評価の動向を見ながら本市も検討していきたい。

一般質問

河川流末地域の豪雨対策と河川環境美化について

毛受 明宏 議員



問 境川沿いと三崎町急傾斜地に設置された防災行政無線を使った豪雨災害訓練が初めて行われた。どのような声があったか。

答 対象地区の区長や防災理事、町内会長を対象に、警戒レベル3の高齢者避難と警戒レベル4の避難指示の発令という情報伝達訓練を実施した。訓練結果はおおむね良かったが、同報無線が聞こえづらいとの報告が一部あった。

問 サイレンが全部についていないと聞くが、設置や増設の考えは。

答 定期的な訓練実施をして問題点に関しては検証していく。実際に音を聞いて覚えることは大事で、サイレンを鳴らす防災訓練の要望があれば検討していきたい。

問 境川堤防の高水敷は県が行う草刈り範囲に含まれていない。河川の堤防保護の推進のためにも県に要望してはどうか。

答 市としては、高水敷の草刈りを実施することによって、河川構造の洗堀・漏水・亀裂・沈下等の僅かな変化を確認でき、ごみ等を捨てにくい環境確保、防犯対策等の効果が見込まれることから、管理者である県へ要望をしていきたい。



高水敷に生える竹藪

問 市街地を流れる河川の豪雨対策・環境美化についての考えは。

答 県が管理する正戸川・阿野川・皆瀬川の豪雨対策として、河道内の樹木は治水上支障になると認められれば県が順次伐採する。護岸ブロック目地等から繁茂する雑草等に対しても、現場確認後に改修工事等を県に要望していきたい。

一般質問

●災害時の命を守る行動、地域強靱化について ●交通事故予防対策として

三浦 桂司 議員



- 問** コロナ感染の不安から避難に車中泊の選択が増えると思うが、防災訓練で車中泊訓練をしては。
- 答** 車中泊できるなどコロナ対策を盛り込んだ避難所運営方針を定めた。今後は車中泊訓練も検討していきたい。
- 問** 情報伝達などの不備をなくすために、地域独自のマップ作成の支援は。
- 答** 浸水被害の少ない地域と境川沿いの地域では危険度リスクが違う。地域をよく知る地元の人々が独自に防災マップを作るのは有意義であり、作成する場合は協力したい。
- 問** 豊明市地域強靱化計画の進捗よくについて。
- 答** ブロック塀撤去補助金の拡大、境川沿いに同報無線の設置、デジタル系行政無線の導入設計等。
- 問** 不特定多数の者が利用する、地域の建物の取り壊し補助について。
- 答** 一定規模の建物は耐震診断の補助は行っているが、除去費用の補助は実施していない。
- 問** 大震災に向けての、後方支援拠点の強化、災害ごみの一時保管場所の確保拡充は。
- 答** 仮置場に勅使グラウンドを確保。仮置きが困難な場合、県内全ての市町村、一部事務組合との災害協定により、被災していない自治体や組合の仮置場、処分施設の相互利用で対処する。
- 交通安全予防対策**
- 問** 通学路の安全対策は。
- 答** 毎年、学校ごとに危険箇所の報告がある。学校教育課、土木課、防災防犯対策課で対策協議を行い、改善を進めている。
- 問** 横断歩道で人が待っているにも関わらず、一時停止をしない車が多い。取り締まりできないか。
- 答** 現状を署に伝えて、指導をお願いしたい。



一般質問

●通学路…危険箇所の抽出 学校の危機意識 低い ●特殊詐欺…狙われる豊明 地域を下見する受け子

宮本 英彦 議員



- 通学路の安全対策**
- 問** 千葉県八街市で下校中の小学生の列に車が突っ込み、5人が死傷する事故が発生した。通学路の安全経路の調査、抽出は通学路交通安全プログラム（通学路安全確保に関する取組方針）がある。しかし、令和3年までの4年間で館小学校と三崎小学校の通学路の危険箇所は各1件しか報告されていない。この2校だけではないが、通学路の危険箇所に対する校長の認識が低いのではないか。
- 答** 通学路の危険箇所に対する危機意識が甘かった。大いに反省している。校長会を通して、この調査の重要性をしっかりと伝えたい。
- 特殊詐欺の被害防止**
- 問** 愛知警察署から、特殊詐欺の被害は豊明市が非常に多く、とりわけ吉池区吉池団地町内会と錦町内会が多いため、特殊詐欺対策取り組みモデル地域として「特殊詐欺電話通報推進地区」ポスターを地域に掲示してほしいと依頼があった。市内全域への掲示を要請する。
- 答** 今回この2地区を推進地区として設定、ポスターの効果を見極め検討したい。
- 問** 特殊詐欺防止に向けた通話記録装置購入費補助金の新設を提案する。
- 答** 特殊詐欺は固定電話の着信から始まるケースが多い。非常に有効だと認識しており検討したい。
- 問** 防犯カメラ補助金は原則1区につき1台と書式集に記載されている。どのような意味か。
- 答** 各区に1台しか認めないという意味ではない。表現は改める。



2021

10:00～11:30

（開場は9：30です）

豊明市文化会館
ギャラリーにて

11/27

（土）

開かれた議会を目指して

議会報告会



【内容】

第一部：常任委員会の報告

第二部：意見交換会

<総務委員会>

◎月岡修一 ○林ゆきひろ 堀内ちほ 宮本英彦 鵜飼貞雄
一色美智子

<健康福祉委員会>

◎青木亮 ○服部龍一 ごとう学 三浦桂司 近藤千鶴
ふじえ真理子 近藤善人

<建設文教委員会>

◎近藤ひろひで ○郷右近修 いたうひろし 中村めぐみ
清水義昭 近藤郁子 毛受明宏

◎委員長 ○副委員長



新型コロナウイルスの影響で、中止、延期、または内容を変更させていただく場合があります。議会事務局のホームページをご確認ください。



お問い合わせ
豊明市議会事務局
電話 0562 (92) 1121

皆様のお越しをお待ちしております。

Email:gikai@city.toyoake.lg.jp